

令和 5 (2023) 年度科研費の審査に係る総括

1. 審査全体の総括

科研費事業は、人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究費」であり、ピアレビュー（研究者コミュニティから選ばれる研究者による審査）により、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものである。

令和 5 (2023) 年度の日本学術振興会（以下「振興会」という。）審査担当分の各種目に係る公募については、「電子申請システム」を活用し応募書類の受付を行い、審査については、科学研究費委員会（別紙 1－1）に置かれる各部会等において、「科学研究費事業における審査及び評価に関する規程」（独立行政法人日本学術振興会科学研究費委員会決定）に基づき、7,949 名の審査委員によるピアレビューを実施した。審査は、研究種目の目的や趣旨に即した審査プロセスや方法を構築し、多様な応募研究計画に対応できる審査体制を整備して適切に行われた。加えて、年度当初から研究活動が円滑に進められるよう、令和 5 (2023) 年 2 月下旬～3 月下旬に研究代表者等に対して審査結果を通知した。

2. 主な研究種目の審査状況

令和 5 年度の審査結果は、新規応募総数は 88,896 件に対して新規採択件数 24,679 件となった。各研究種目の審査結果（詳細は別紙 3 を参照）、主な種目の審査状況及び審査委員から寄せられた意見は以下のとおりである。

【審査結果】

研究種目	応募件数	採択件数	審査方式
特別推進研究	89	10	総合審査 (書面審査+合議審査)
基盤研究（S）※	571	70	
基盤研究（A）※	1,802	491	
挑戦的研究（開拓）※	1,502	177	
挑戦的研究（萌芽）※	9,036	1,115	二段階書面審査
基盤研究（B）※	11,555	3,234	
基盤研究（C）※	43,689	11,991	
若手研究※	13,060	5,274	
奨励研究※	2,739	422	
研究活動スタート支援※	3,856	1,435	
研究成果公開促進費	997	460	—
合 計	88,896	24,679	—

※応募件数が多数となったため、審査区分を分割して複数の小委員会を設けて審査を行った。

【主な種目の審査状況及び審査委員から寄せられた意見】

○特別推進研究

新しい学術を切り拓く真に優れた独自性のある研究であって、格段に優れた研究成果が期待される研究計画を支援する特別推進研究については、研究の独創性及び研究の意義、研究分野の現状と動向及びその中で当該研究の位置づけ、研究遂行能力の適切性等の観点から審査を行い、応募額を最大限尊重した配分を行った。審査委員からは、専門分野が近い研究者が作成する審査意見書を参考にすることが多いことから、引き続き適切な審査意見書作成者の選考に期待したいとの意見があった。

○基盤研究

独創的、先駆的な研究を格段に発展させる研究計画を支援する基盤研究については、研究課題の学術的重要性、研究方法の妥当性、研究遂行能力及び研究環境の適切性の観点を中心に審査を行った。各種目の審査委員からは、以下の意見があった。

- ・総合審査（ヒアリング含む）を実施した基盤研究（S）の審査委員からは、ヒアリングをWeb会議形式で実施するにあたり、応募者からの説明動画ファイルで視聴する方法は、応募者の考え方や研究計画のポイントを明確に把握できるという意見が多くあった。他方、応募者の熱量や力量が見えやすいので、プレゼンは対面での実施が望ましいという意見も一定数あった。

- ・総合審査を実施した基盤研究（A）の審査委員からは、審査にあたっての留意点やポイントについて、審査委員に対する説明会等の機会を設けてはどうかとの意見があった。

- ・二段階書面審査を実施した基盤研究（B、C）の審査委員からは、書面審査の際に記入する審査意見はどのような観点到留意して記述すべきか、記載すべきポイントを具体的に示して欲しいといった要望の他、審査件数が多く審査にかなりの労力と時間がかかるという意見があった。なお、基盤研究（B）においては、応募件数が著しく少ない状況にある一部の小区分（49区分）について複数の小区分での合同審査を実施した。合同審査区分の審査委員からは、複数の小区分が大括り化されており分野が広がっていたため、審査を行うのが難しかったとの意見があった。

○挑戦的研究（開拓・萌芽）

斬新な発想に基づき、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを志向し、飛躍的に発展する潜在性を有する研究計画を支援する挑戦的研究については、アイデアの斬新性など挑戦的研究としての意義を重視した審査を行い、応募額を最大限尊重した配分を行った。審査委員からは、「開拓」（総合審査）と「萌芽」（二段階書面審査）の両方を担当しなければならないため、他種目と比べると審査期間が長く、多大な労力と時間を費やすことになるので負担が大きいと感じたなどの意見があった。

○若手研究

博士の学位を取得後8年未満の研究者の優れた研究計画を支援する若手研究については、研究課題の学術的重要性、研究方法の妥当性、研究遂行能力及び研究環境の適切性の観点から審査を行った。審査委員からは、評定要素の内容が研究計画調書から読み取れないものがあり評点を付すのに時間を要した、審査に携わることで応募者としてどのような点に注意して研究計画調書を記載すべ

きか理解できた、他の審査委員の審査意見を確認し自身の評点を見直せる仕組みが有効に機能していた、という意見が多くあった。

○研究活動スタート支援

研究機関に採用されたばかりの研究者や育児休業等から復帰する研究者のうち、前年秋の募集時期に応募できなかった研究者の優れた研究計画を支援するものである。研究課題の学術的重要性、研究方法の妥当性、研究遂行能力及び研究環境の適切性の観点から審査を行った。今回の審査から、資料電子化の一環として研究計画調書は冊子体の送付を取り止め、科研費電子審査システムを通じて電子媒体の研究計画調書（色を付した図や文字が使用）を閲覧する手段（Web 閲覧）のみとした。審査に支障はなかったと考えられるが、審査委員からは、審査を円滑に行うためハイライト機能や検索機能を付加して欲しいという意見があった。

【審査における多様性の確保】

審査委員については、日本学術振興会学術システム研究センターの複数の研究員が、審査委員候補者データベースに登録されている研究者の中から、専門分野ごとに作成した候補者案を基に振興会が選考している。候補者案の作成にあたっては、学術分野に精通し公正で十分な評価能力を有する者を選考するとともに、国際的な視野を持つ者であることにも配慮した。

また、審査委員の多様性に配慮する観点から、女性研究者等の積極的な登用に努め、所属研究機関のバランスなどにも配慮した審査体制としたことに加え、特別推進研究においては海外の研究者による専門的な立場からの意見も活用するなど、多様でより広い評価の視点を確保した。

なお、令和5年度審査における女性審査委員は1,886名であった。（詳細は別紙1－2を参照）

3. 今後の審査に向けて

学術研究は、研究者同士が建設的に評価・審査しあうピアレビューのシステムにより発展してきた。科研費のピアレビューをより一層充実させるためにも、審査委員からの様々な意見だけでなく、審査の検証及び検証によって蓄積された情報も適切に反映・活用し、さらに公正で透明性の高い審査・評価システムとなるよう引き続き改善に取り組む必要がある。

優れた研究課題を採択する上で、審査委員の多様性は極めて重要であることから、総合審査における合議審査の場などの活用により審査委員の育成を進めていくとともに、引き続き女性研究者、審査委員未経験者及び若手研究者の審査委員への登用に努める。

他方、審査委員は新しい価値を創造する第一線の研究者でもあり、研究者の研究時間確保は重要である。研究者人口の減少といった状況変化にも対応できるよう、研究種目の目的、性格等に応じたメリハリをつけた持続可能な審査システムの在り方の検討が強く望まれている。

これらに加え、振興会では、コロナ禍での経験を踏まえ「科学研究費助成事業の合議審査の開催形式に係る基本方針について」において、当面の間「Web 会議形式」による合議審査を基本とすることを決定している。その一環として、研究活動スタート支援等における審査資料の電子化に係る実施結果と得られた知見を基に、今後他種目への横展開を見据えた改善検討を進めるとともに、今後も審査業務のデジタル・トランスフォーメーション（DX）等により、業務効率化を一層推進していく必要がある。

参 考 資 料

(別紙 1－1) 科学研究費委員会組織図

(別紙 1－2) 審査委員候補者の推移及び令和 5 年度審査における審査委員の状況

(別紙 2) 研究種目別の公募・審査の状況

(別紙 3) 令和 5 (2023) 年度科学研究費助成事業の審査結果

(別紙 4) 研究種目別の応募件数・採択件数の推移

(別紙 5) 研究機関種別の応募・採択等の状況

(別紙 6) 職種別の応募・採択等の状況

(別紙 7) 男女別の応募・採択等の状況

(別紙 8) 年齢別の応募・採択等の状況

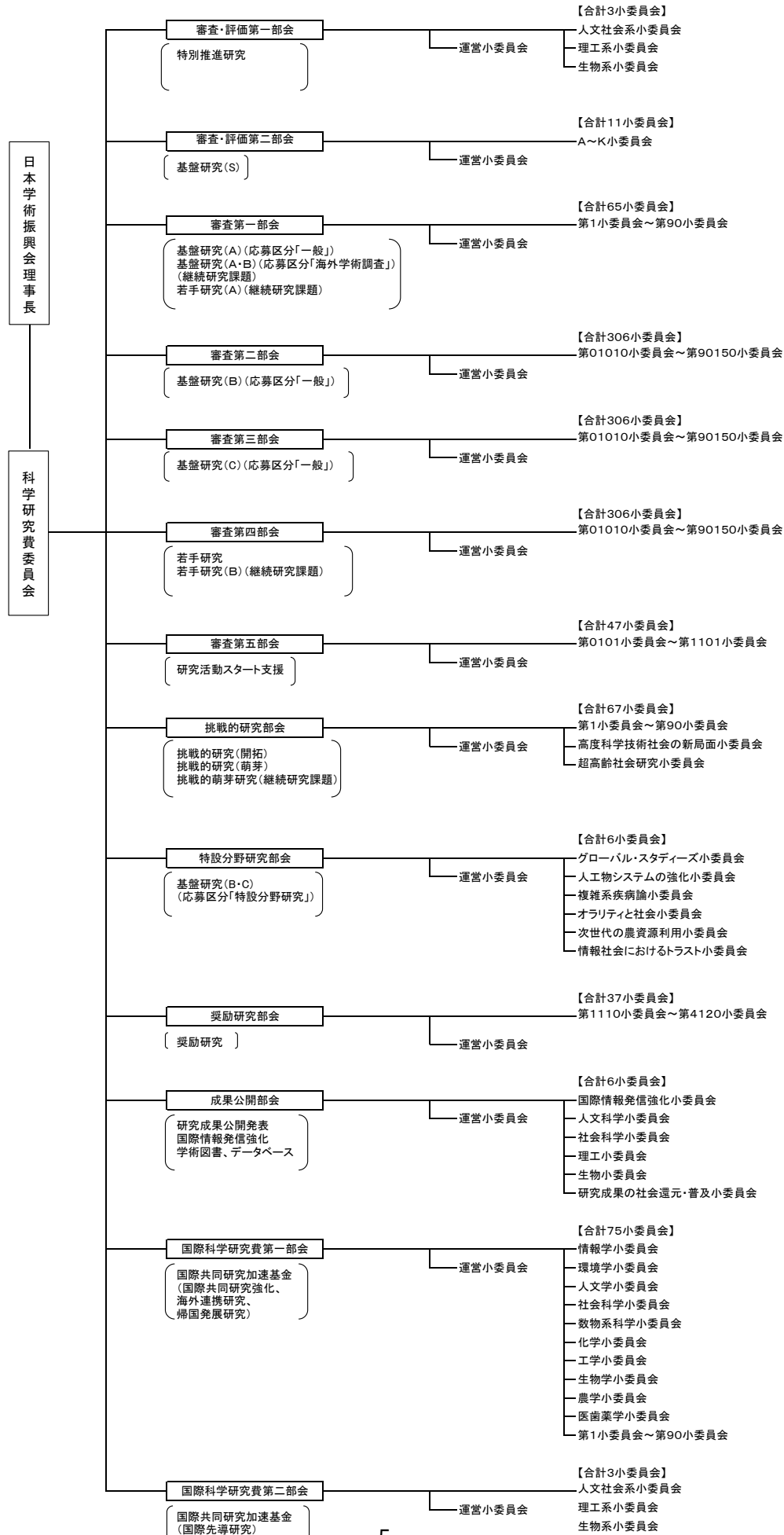
注 1) 別紙 3 及び別紙 5～8 に記載の配分額は直接経費の配分額を指す。

注 2) 別紙 5～8 について、科研費の審査（ピアレビュー）に当たっては研究者の属性等を考慮した審査は行っていないが、審査結果の参考として集計したもの。

科学研究費委員会組織図

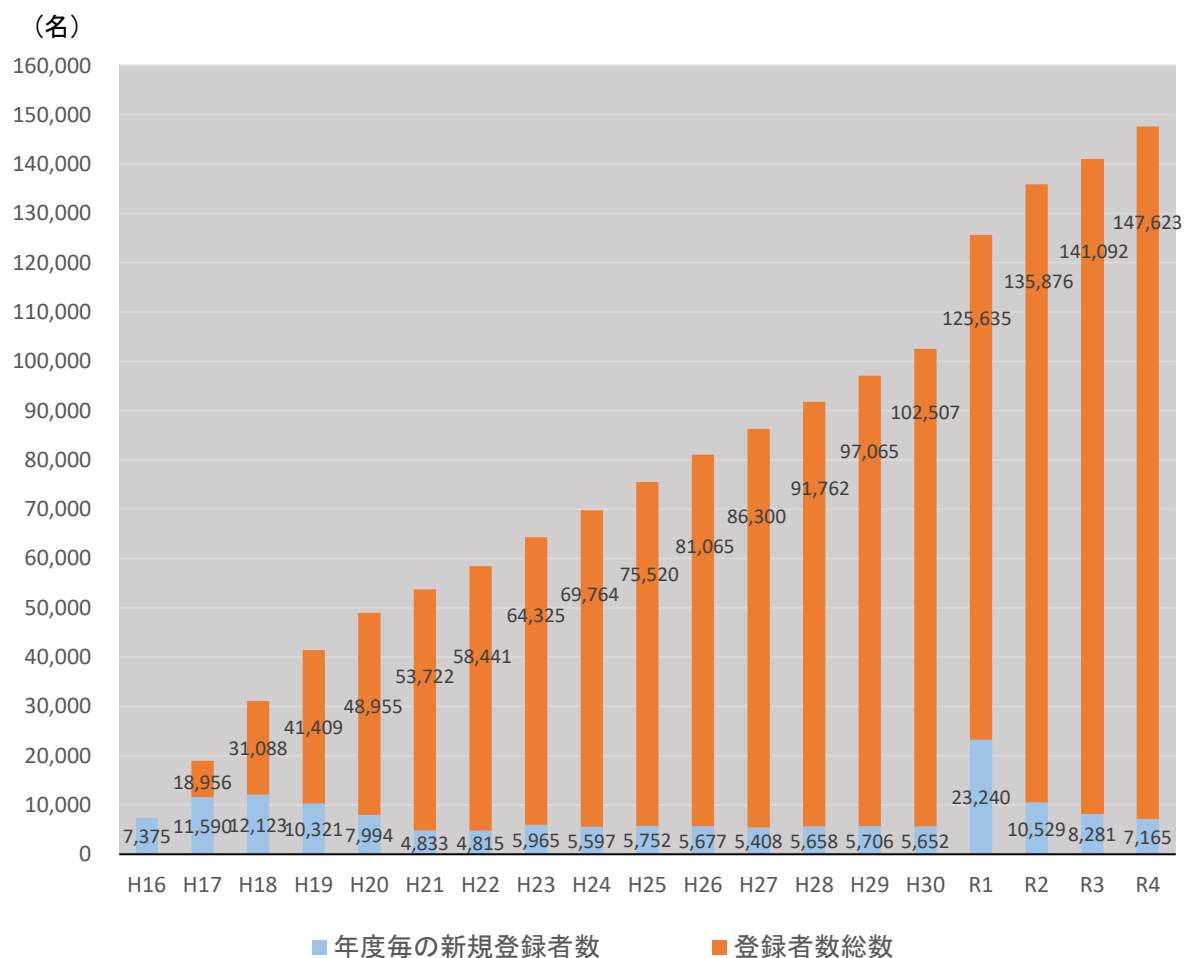
別紙1-1

【小委員会合計: 1, 238小委員会(分割及び合同は含まない)】

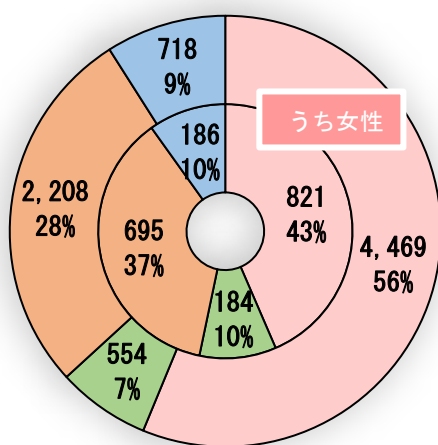


審査委員候補者の推移及び令和 5 年度審査における審査委員の状況

○審査委員候補者データベースの登録者数の推移



○令和 5 年度審査における審査委員の状況



	審査委員数	うち女性
国立大学	4,469	821
公立大学	554	184
私立大学	2,208	695
その他	718	186
計	7,949	1,886

研究種目ごとの公募・審査の状況

○公募

応募書類は、「電子申請システム」を活用して研究種目ごとに受付を行った。

研究種目	公募期間
特別推進研究、基盤研究（S）、基盤研究（A）	令和4（2022）年7月1日～9月5日
基盤研究（B・C）、挑戦的研究、若手研究、奨励研究、研究成果公開促進費	令和4（2022）年8月1日～10月5日
研究活動スタート支援	令和5（2023）年3月1日～5月10日

○審査

「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」に基づき、上記種目について7,376名（国際種目を含まない）の審査委員により審査を実施した。

(1) 特別推進研究

審査組織	審査・評価第一部会に置かれる専門分野ごとの3小委員会（審査委員数32名（以下同じ。））及び運営小委員会（8名）	
審査方法	・審査方式：総合審査（書面審査及び合議審査） ・審査区分：「人文社会系」、「理工系」及び「生物系」（審査委員8名～14名） ・審査意見書（応募研究課題と専門分野に近い国内の研究者各3名程度が作成）も活用し、書面審査及びヒアリング研究課題を選定する合議審査を実施 ・第1回合議審査で用いた資料に加えて、審査意見書（応募研究課題と専門分野に近い海外の研究者各3名程度が作成）も活用し、ヒアリングを実施 ・研究計画調書をもとに、書面審査の内容・第1回合議審査の内容・ヒアリングの内容を総合的に判断し、合議により採択研究課題を決定	
審査等の経過	令和4（2022）年 10月11日～11月4日	審査意見書作成者（国内：263名）が審査意見書を作成
	令和4（2022）年 10月24日～12月5日	書面審査
	令和4（2022）年 12月22日～12月27日	第1回合議審査（ヒアリング研究課題の選定）
	令和5（2023）年 1月10日～1月31日	審査意見書作成者（海外：33名）が審査意見書を作成
	令和5（2023）年 2月10日～2月20日	第2回合議審査（ヒアリングの実施、採択候補研究課題の選定）
	令和5（2023）年 3月6日	運営小委員会（各小委員会の審査結果を踏まえ、採択研究課題を決定）

(2) 基盤研究 (S)

審査組織	審査・評価第二部に置かれる専門分野ごとの 20 小委員会 (120 名) 及び運営小委員会 (22 名)	
審査方法	・ 審査方式：総合審査（書面審査及び合議審査） ・ 審査区分：大区分（審査委員 6 名～18 名） ・ 審査意見書（応募研究課題と専門分野に近い国内の研究者 3 名が作成）も活用し、書面審査及びヒアリング研究課題を選定する合議審査を実施 ・ 研究計画調書をもとに、書面審査の内容・第 1 回合議審査の内容・ヒアリングの内容を総合的に判断し、合議により採択研究課題を決定	
審査等の経過	令和 4 (2022) 年 10 月 11 日～11 月 4 日	審査意見書作成者 (1,468 名) が審査意見書を作成
	令和 4 (2022) 年 11 月 10 日～12 月 15 日	書面審査
	令和 5 (2023) 年 1 月 11 日～1 月 30 日	第 1 回合議審査（ヒアリング研究課題の選定）
	令和 5 (2023) 年 3 月 6 日～3 月 23 日	第 2 回合議審査（ヒアリングの実施、採択候補研究課題の選定）
	令和 5 (2023) 年 4 月 4 日	運営小委員会（各小委員会の審査結果を踏まえ、採択研究課題を決定）

(3) 基盤研究 (A)

審査組織	審査第一部に置かれる専門分野ごとの 77 小委員会 (488 名)	
審査方法	・ 審査方式：総合審査（書面審査及び合議審査） ・ 審査区分：中区分（審査委員 6 名～8 名） ・ 書面審査及び合議審査を行い、採択研究課題を決定	
審査の経過	令和 4 (2022) 年 10 月 7 日～11 月 16 日	書面審査
	令和 4 (2022) 年 12 月 12 日 ～令和 5 (2023) 年 1 月 23 日	合議審査を実施（採択研究課題を決定）

(4) 挑戦的研究

審査組織	挑戦的研究部に置かれる専門分野ごとの 80 小委員会 (538 名)	
審査方法	・ 審査方式： （開拓）総合審査（書面審査及び合議審査） （萌芽）2 段階書面審査 ・ 審査区分：中区分 ・ 事前の選考[各小委員会に属する審査委員（6 名～8 名）のうち 3 名が研究計画調書（概要版）を用いて採択候補研究課題を絞り込む。（応募件数が少ない審査区分においては事前の選考は実施しない。）]	

	・審査委員全員が研究計画調書を用いて書面審査 ・合議審査により採択研究課題を決定	
審査の経過	令和4(2022)年 11月14日～12月15日	(開拓) (萌芽) 事前の選考
	令和5(2023)年 2月6日～3月6日	(開拓) 書面審査 (萌芽) 1段階目の書面審査
	令和5(2023)年 4月10日～5月9日	(開拓) 合議審査を実施(採択研究課題を決定)
	令和5(2023)年 5月10日～5月23日	(萌芽) 2段階目の書面審査

(5) 基盤研究 (B)

審査組織	審査第二部に置かれる専門分野ごとの285小委員会(1,730名)	
審査方法	・審査方式: 2段階書面審査 ・審査区分: 小区分(一部の小区分については複数の小区分での合同審査を実施)(審査委員 6～9名) ・2段階にわたり書面審査を行い、採択研究課題を決定	
審査の経過	令和4(2022)年 11月4日～12月13日	1段階目の書面審査
	令和5(2023)年 1月13日～1月26日	2段階目の書面審査(採択研究課題を決定)

(6) 基盤研究 (C)

審査組織	審査第三部に置かれる専門分野ごとの626小委員会(2,518名)	
審査方法	・審査方式: 2段階書面審査 ・審査区分: 小区分(審査委員 4名) ・2段階にわたり書面審査を行い、採択研究課題を決定	
審査の経過	令和4(2022)年 11月4日～12月13日	1段階目の書面審査
	令和5(2023)年 1月13日～1月26日	2段階目の書面審査(採択研究課題を決定)

(7) 若手研究

審査組織	審査第四部に置かれる専門分野ごとの357小委員会(1,433名)	
審査方法	・審査方式: 2段階書面審査 ・審査区分: 小区分(審査委員 4名) ・2段階にわたり書面審査を行い、採択研究課題を決定	
審査の経過	令和4(2022)年 11月4日～12月13日	1段階目の書面審査

	令和 5 (2023) 年 1 月 13 日 ～ 1 月 26 日	2 段階目の書面審査（採択研究課題を決定）
--	--------------------------------------	-----------------------

(8) 研究活動スタート支援

審査組織	審査第五部会に置かれる専門分野ごとの 63 小委員会（253 名）	
審査方法	・ 審査方式：2 段階書面審査 ・ 審査区分：「研究活動スタート支援 審査区分」（審査委員 4 名） ・ 2 段階にわたり書面審査を行い、採択研究課題を決定	
審査の経過	令和 5 (2023) 年 5 月 26 日～6 月 30 日	1 段階目書面審査
	令和 5 (2023) 年 7 月 20 日～8 月 2 日	2 段階目の書面審査（採択研究課題を決定）

(9) 奨励研究

審査組織	奨励研究部会に置かれる専門分野ごとの 53 小委員会（159 名）	
審査方法	・ 審査方式：2 段階書面審査 ・ 審査区分：「奨励研究 審査区分表」（審査委員 3 名） ・ 2 段階にわたり書面審査を行い、採択研究課題を決定	
審査の経過	令和 4 (2022) 年 11 月 4 日～12 月 13 日	1 段階目の書面審査
	令和 5 (2023) 年 1 月 13 日～1 月 26 日	2 段階目の書面審査（採択研究課題を決定）

(10) 研究成果公開促進費（研究成果公开发表、国際情報発信強化、学術図書、データベース）

審査組織	成果公開部会に置かれる 6 小委員会（105 名）及び運営小委員会（6 名）		
審査方法	国際情報発信強化	〔国際情報発信強化（A）・オープンアクセス刊行支援〕	・ 国際情報発信強化小委員会に属する 15 名（学術団体等における学術刊行物の編集長、刊行業務担当等の運営又は実務経験者）の審査委員が書面審査を実施 ・ 小委員会において合議審査により採択課題を決定
		〔国際情報発信強化（B）〕	・ 国際情報発信強化小委員会に属する 6 名の関連審査委員が書面審査を実施 ・ 小委員会において合議審査により採択課題を決定

	研究成果公開發表(研究成果公開發表(B)のうち、「ひらめき☆ときめきサイエンス」を除く)、学術図書、データベース		・各小委員会に属する3名の関連審査委員が書面審査を実施 ・各小委員会において合議審査により採択課題を決定
	研究成果公開發表(B)のうち、「ひらめき☆ときめきサイエンス」		・研究成果の社会還元・普及小委員会に属する21名の審査委員が書面審査を実施 ・合議審査により採択課題を決定
審査の経過	国際情報発信強化	令和4(2022)年12月5日～令和5(2023)年1月6日	書面審査
		令和5(2023)年1月27日及び2月13日	合議審査(採択課題を決定)
	研究成果公開發表(研究成果公開發表(B)のうち、「ひらめき☆ときめきサイエンス」を除く)、学術図書、データベース	令和4(2022)年12月5日～令和5(2023)年1月6日	書面審査
		令和5(2023)年1月23日～3月8日	合議審査(採択課題を決定)
	研究成果公開發表(B)のうち、「ひらめき☆ときめきサイエンス」	令和4(2022)年12月5日～令和5(2023)年1月6日	書面審査
		令和5(2023)年2月7日	合議審査(採択候補課題を決定)
		令和5(2023)年2月15日	研究成果の社会還元・普及小委員会において採択課題を決定

令和5(2023)年度科学研究費助成事業の審査結果

新規採択分

令和5(2023)年10月現在

研究種目	研究課題数			研究経費 配分額	1課題当たりの配分額	
	応募	採択	採択率		平均	最高
	件	件	%	千円	千円	千円
科学研究費	〔 90,033 〕 87,899	〔 25,786 〕 24,219	〔 28.6 〕 27.6	〔 55,729,500 〕 55,572,030 【 16,616,190 】	〔 2,161 〕 2,295	〔 186,300 〕 251,600
(1)特別推進研究	〔 88 〕 89	〔 10 〕 10	〔 11.4 〕 11.2	〔 971,800 〕 1,355,500 【 406,650 】	〔 97,180 〕 135,550	〔 186,300 〕 251,600
(2)基盤研究(S)	〔 649 〕 571	〔 80 〕 70	〔 12.3 〕 12.3	〔 3,233,400 〕 2,809,500 【 842,850 】	〔 40,418 〕 40,136	〔 86,700 〕 142,100
(3)基盤研究(A)	〔 1,920 〕 1,802	〔 526 〕 491	〔 27.4 〕 27.2	〔 5,972,000 〕 5,956,700 【 1,787,010 】	〔 11,354 〕 12,132	〔 29,000 〕 34,900
(4)基盤研究(B)	〔 11,552 〕 11,555	〔 3,403 〕 3,234	〔 29.5 〕 28.0	〔 17,061,200 〕 17,275,400 【 5,182,620 】	〔 5,014 〕 5,342	〔 13,800 〕 14,100
(5)基盤研究(C)	〔 45,434 〕 43,689	〔 12,952 〕 11,991	〔 28.5 〕 27.4	〔 14,778,400 〕 15,447,400 【 4,634,220 】	〔 1,141 〕 1,288	〔 3,100 〕 3,500
(6)挑戦的研究(開拓)	〔 1,365 〕 1,502	〔 183 〕 177	〔 13.4 〕 11.8	〔 1,244,200 〕 1,250,700 【 375,210 】	〔 6,799 〕 7,066	〔 17,200 〕 16,100
(7)挑戦的研究(萌芽)	〔 9,391 〕 9,036	〔 1,505 〕 1,115	〔 16.0 〕 12.3	〔 3,444,700 〕 2,534,700 【 760,410 】	〔 2,289 〕 2,273	〔 4,800 〕 4,700
(8)若手研究	〔 13,142 〕 13,060	〔 5,293 〕 5,274	〔 40.3 〕 40.4	〔 7,388,500 〕 7,334,100 【 2,200,230 】	〔 1,396 〕 1,391	〔 3,400 〕 3,400
(9)研究活動スタート支援	〔 3,617 〕 3,856	〔 1,391 〕 1,435	〔 38.5 〕 37.2	〔 1,441,400 〕 1,423,300 【 426,990 】	〔 1,036 〕 992	〔 1,100 〕 1,100
(10)奨励研究	〔 2,875 〕 2,739	〔 443 〕 422	〔 15.4 〕 15.4	〔 191,600 〕 184,730	〔 433 〕 438	〔 480 〕 480
研究成果公開促進費	〔 1,022 〕 997	〔 441 〕 460	〔 43.2 〕 46.1	〔 573,880 〕 601,080	〔 1,301 〕 1,307	〔 9,200 〕 45,400
研究成果公开发表	〔 338 〕 359	〔 201 〕 237	〔 59.5 〕 66.0	〔 123,480 〕 135,680	〔 614 〕 572	〔 7,800 〕 6,200
国際情報発信強化	〔 29 〕 31	〔 13 〕 6	〔 44.8 〕 19.4	〔 43,300 〕 63,000	〔 3,331 〕 10,500	〔 6,000 〕 45,400
学術図書	〔 585 〕 542	〔 196 〕 191	〔 33.5 〕 35.2	〔 301,800 〕 306,700	〔 1,540 〕 1,606	〔 4,500 〕 7,300
データベース	〔 70 〕 65	〔 31 〕 26	〔 44.3 〕 40.0	〔 105,300 〕 95,700	〔 3,397 〕 3,681	〔 9,200 〕 9,700
合 計	〔 91,055 〕 88,896	〔 26,227 〕 24,679	〔 28.8 〕 27.8	〔 56,303,380 〕 【 16,660,680 】 56,173,110 【 16,616,190 】	〔 2,147 〕 2,276	〔 186,300 〕 251,600

(注1)上段〔 〕内は前年度、下段【 】は間接経費(外数)を示す。

(注2)基盤研究(C)、挑戦的研究(開拓・萌芽)、若手研究については、基金種目であるため、「配分額」欄及び「1課題あたりの配分額」欄には、令和4年度の当初計画に対する配分額を計上。

(注3)「特別研究員奨励費」は含まない。

令和5(2023)年度科学研究費助成事業の審査結果

新規採択分＋継続分

令和5(2023)年10月現在

研 究 種 目	研 究 課 題 数		研 究 経 費	1課題当たりの配分額	
	応募	採択	配分額	平均	最高
	件	件	千円	千円	千円
科学研究費	〔 144,833 〕 142,126	〔 80,496 〕 78,367	〔 146,081,543 〕 145,016,770 〔 44,275,429 〕	〔 1,815 〕 1,850	〔 349,000 〕 251,600
(1)特別推進研究	〔 134 〕 134	56 55	5,191,300 5,171,300 〔 1,551,390 〕	〔 92,702 〕 94,024	〔 349,000 〕 251,600
(2)基盤研究(S)	〔 965 〕 887	395 386	〔 11,587,400 〕 11,308,100 〔 3,392,430 〕	〔 29,335 〕 29,296	〔 86,900 〕 142,100
(3)基盤研究(A)	〔 3,611 〕 3,436	2,199 2,110	〔 18,078,200 〕 17,227,900 〔 5,168,370 〕	〔 8,221 〕 8,165	〔 29,000 〕 34,900
(4)基盤研究(B) ※1	〔 19,876 〕 20,106	11,656 11,721	〔 42,496,797 〕 43,390,329 〔 13,017,099 〕	〔 3,646 〕 3,702	〔 13,800 〕 14,100
(5)基盤研究(C)	〔 73,699 〕 72,306	41,217 40,608	〔 37,903,700 〕 38,310,800 〔 11,493,240 〕	〔 920 〕 943	〔 3,100 〕 3,500
(6)挑戦的研究(開拓)	〔 1,749 〕 1,947	567 622	〔 3,087,300 〕 3,475,900 〔 1,042,770 〕	〔 5,445 〕 5,588	〔 17,200 〕 16,400
(7)挑戦的研究(萌芽)	〔 11,546 〕 11,308	3,660 3,387	〔 7,186,700 〕 6,391,200 〔 1,917,360 〕	〔 1,964 〕 1,887	〔 4,800 〕 4,700
(8)若手研究(A) ※1	〔 3 〕 2	3 2	5,796 3,600 〔 1,080 〕	〔 1,932 〕 1,800	〔 3,000 〕 3,000
(9)若手研究(B)	〔 35 〕 11	35 11	― ― 〔 ― 〕	〔 ― 〕 ―	〔 ― 〕 ―
(10)若手研究	〔 25,287 〕 23,958	17,438 16,172	〔 17,440,400 〕 16,716,300 〔 5,014,890 〕	〔 1,000 〕 1,034	〔 3,400 〕 3,400
(11)研究活動スタート支援	〔 5,045 〕 5,288	2,819 2,867	〔 2,909,800 〕 2,835,400 〔 850,620 〕	〔 1,032 〕 989	〔 1,200 〕 1,100
(12)奨励研究	〔 2,883 〕 2,743	451 426	〔 194,150 〕 185,941	〔 430 〕 436	〔 540 〕 480
研究成果公開促進費	〔 1,083 〕 1,058	502 521	〔 826,180 〕 785,080	〔 1,646 〕 1,507	〔 35,300 〕 45,400
研究成果公開發表	〔 339 〕 360	202 238	〔 130,880 〕 141,780	〔 648 〕 596	〔 7,800 〕 6,200
国際情報発信強化	〔 72 〕 72	56 47	〔 263,000 〕 219,400	〔 4,696 〕 4,668	〔 35,300 〕 45,400
学術図書	〔 590 〕 550	201 199	〔 306,500 〕 314,000	〔 1,525 〕 1,578	〔 4,500 〕 7,300
データベース	〔 82 〕 76	43 37	〔 125,800 〕 109,900	〔 2,926 〕 2,970	〔 9,200 〕 9,700
合 計	〔 145,916 〕 143,184	〔 80,998 〕 78,888	〔 146,907,723 〕 〔 43,766,218 〕 145,801,850 〔 44,275,429 〕	〔 1,814 〕 1,848	〔 349,000 〕 251,600

(注1)上段〔 〕内は前年度、下段【 】は間接経費(外数)を示す。

(注2)基盤研究(C)、挑戦的研究(開拓・萌芽)、若手研究(B)、若手研究については、基金種目であるため、「配分額」欄及び「i課題あたりの配分額」欄には、令和5年度の当初計画に対する配分額を計上。

(注3)「特別研究員奨励費」、基盤研究(B・C)「特設分野研究」、「新学術領域研究(研究領域提案型)」は含まない。

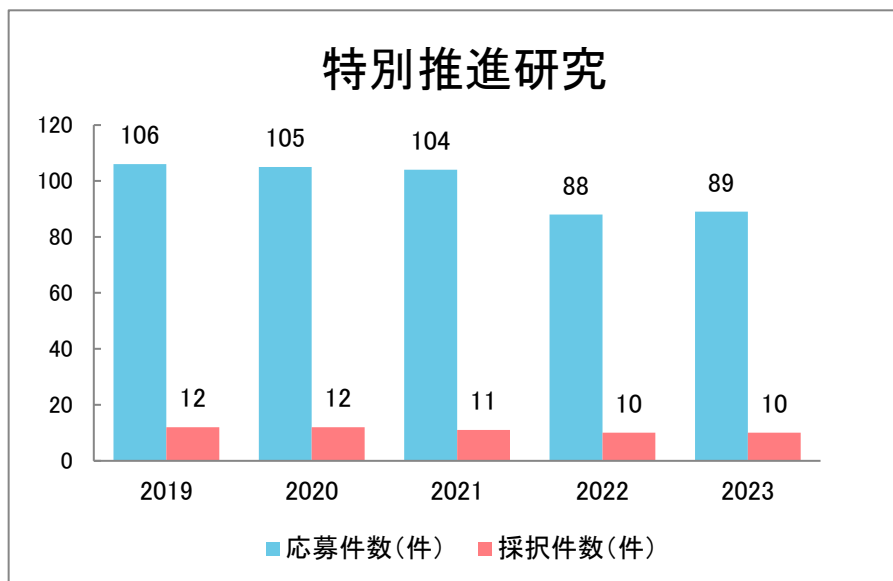
なお、基盤研究(B・C)「特設分野研究」の令和5(2023)年度継続分の応募・採択状況は、応募数(1件)、採択数(1件)、配分額(直接経費 0千円、間接経費 0千円)。

(注4)※1は、令和5年度の配分額を計上。

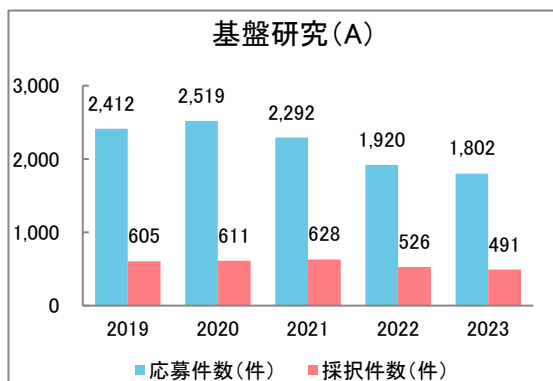
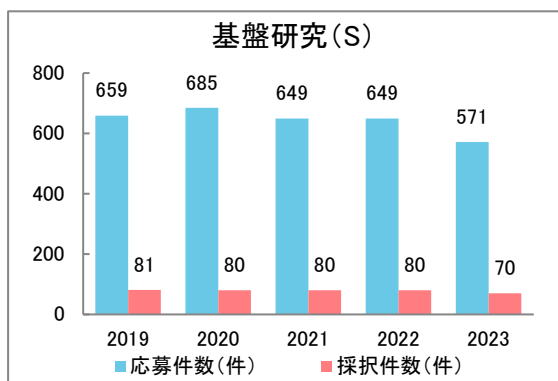
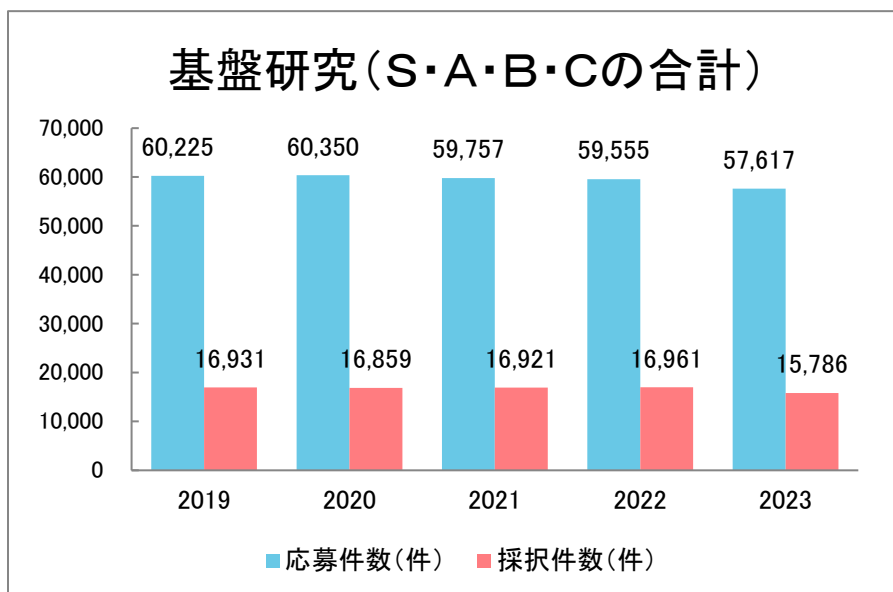
研究種目別の応募件数・採択件数の推移

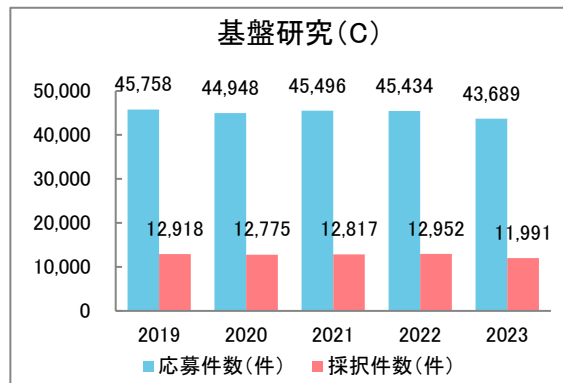
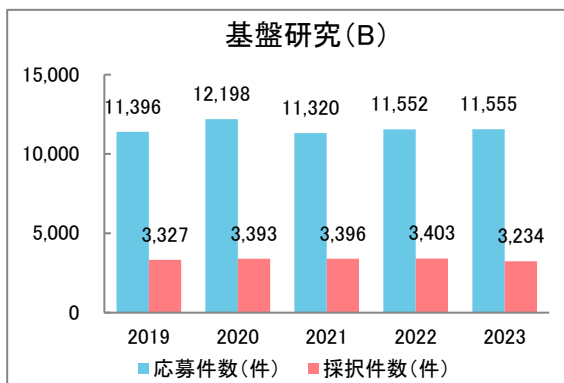
○応募件数・採択件数の推移

(1) 特別推進研究

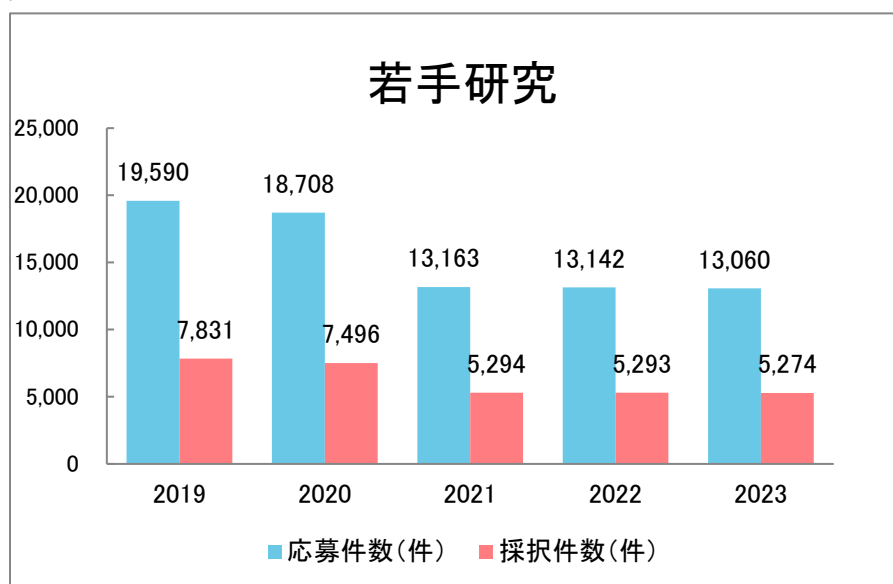


(2) 基盤研究

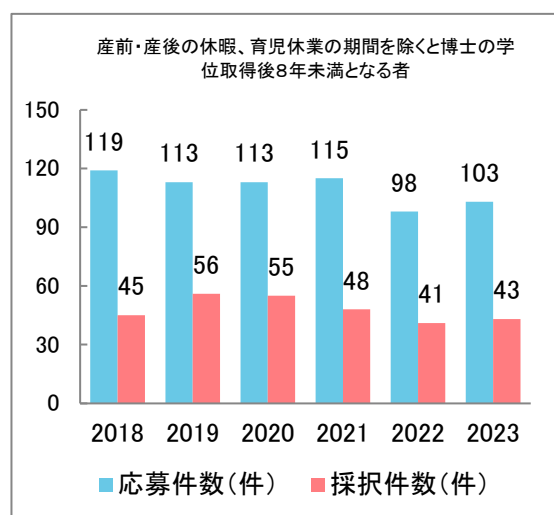
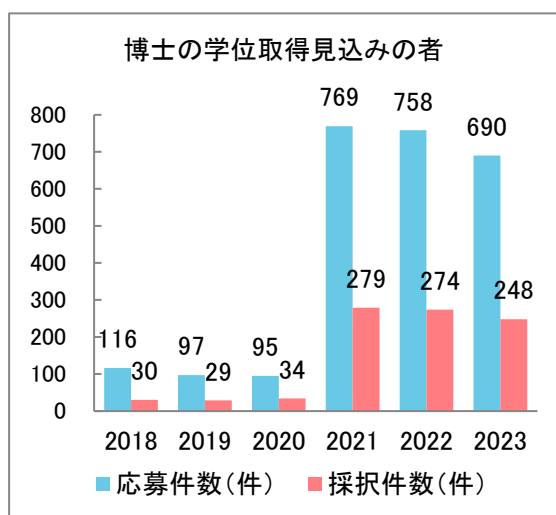




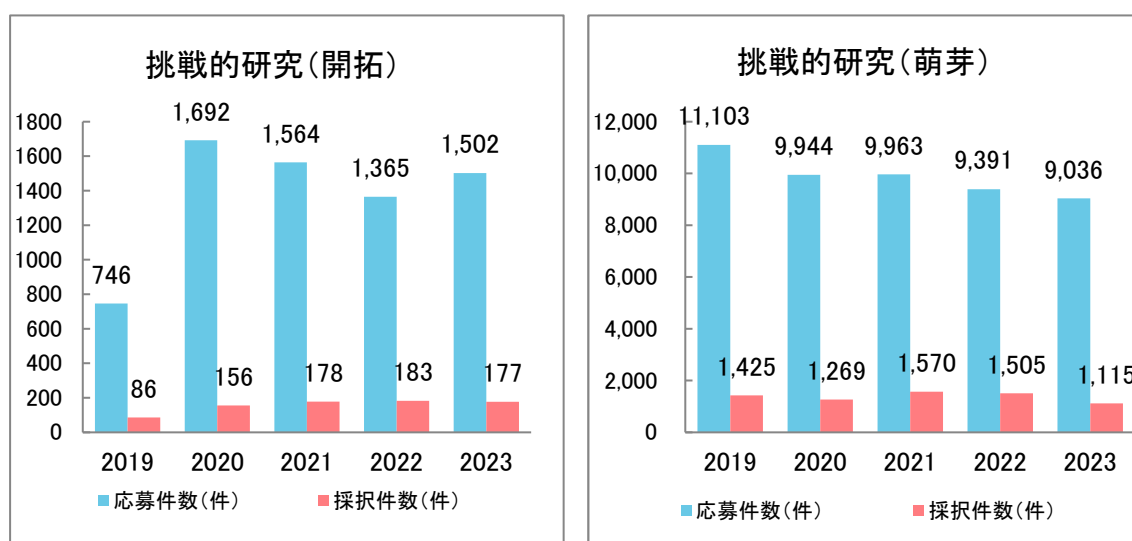
(3) 若手研究



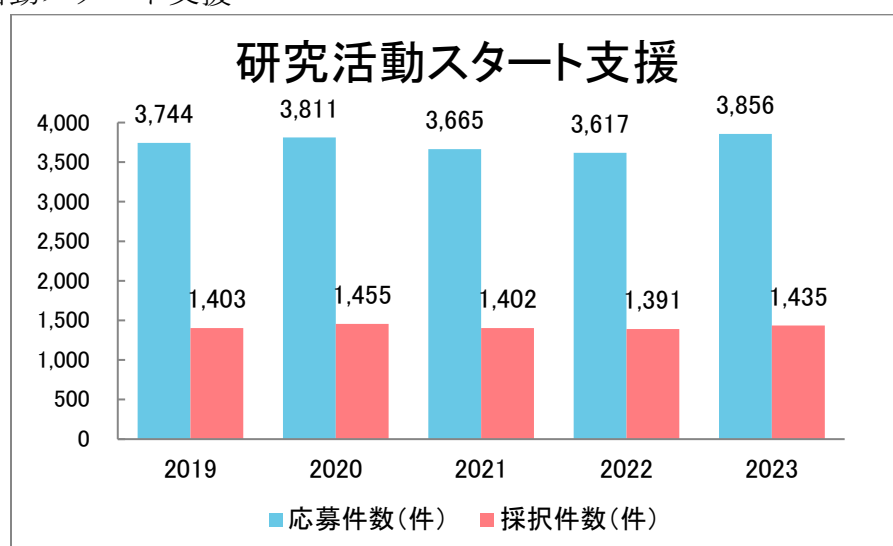
※平成30(2018)年度より、若手研究(A)は公募を停止し若手研究(B)は「若手研究」に名称を変更



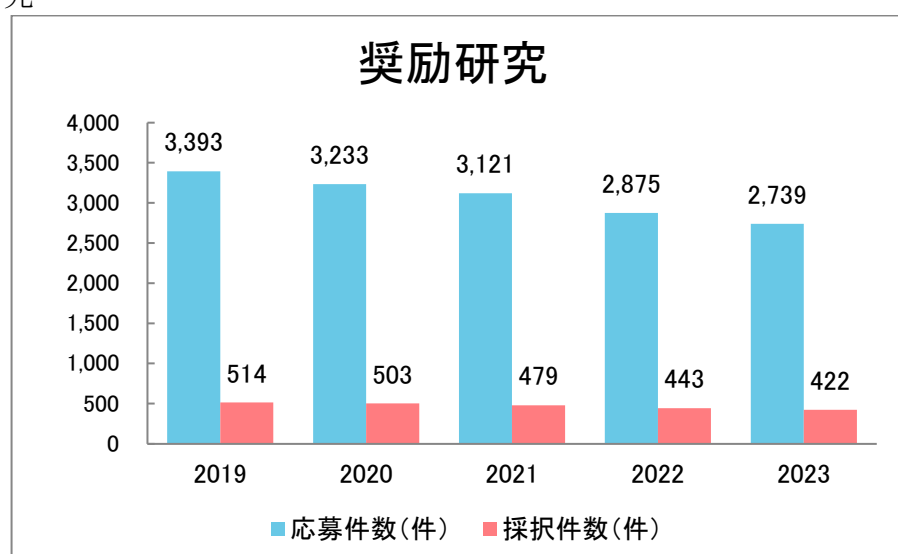
(4) 挑戦の研究



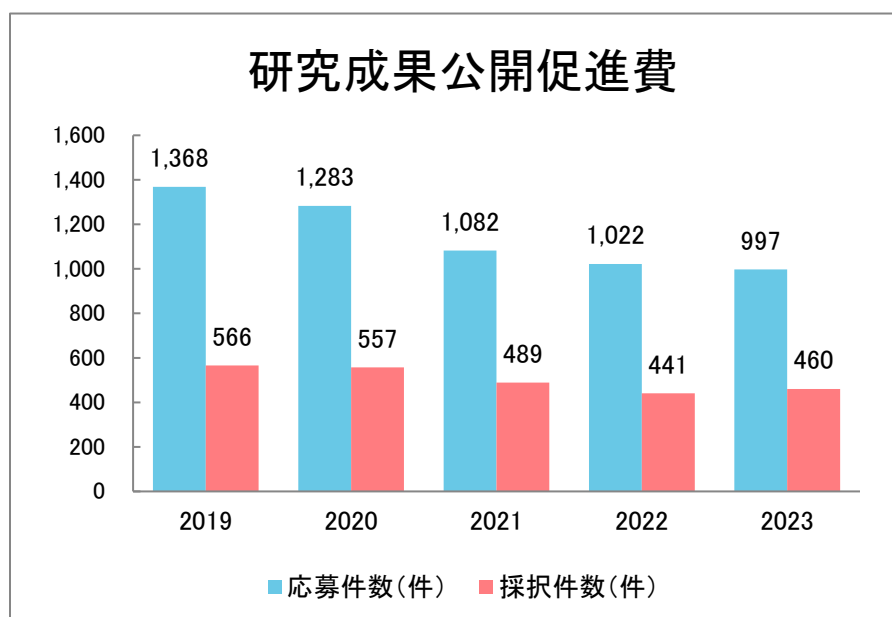
(5) 研究活動スタート支援



(6) 奨励研究



(7) 研究成果公開促進費（研究成果公开发表、国際情報発信強化、学術図書、データベース）



※令和元(2019)年度より、「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI」を研究成果公開促進費（研究成果公开发表）として、公募と審査を実施。

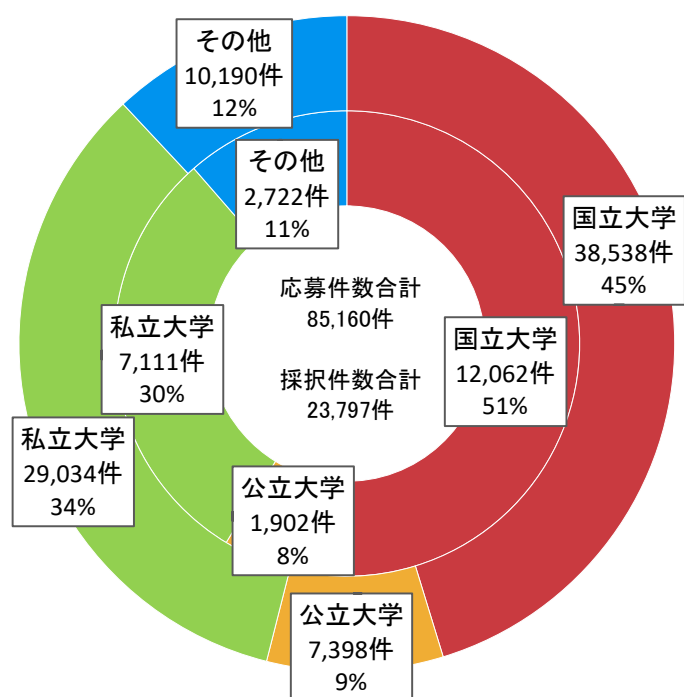
研究機関種別の応募・採択等の状況

区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
国立大学	38,538	12,062	31.3%	32,657,000	2,707
公立大学	7,398	1,902	25.7%	3,326,500	1,749
私立大学	29,034	7,111	24.5%	12,400,600	1,744
その他	10,190	2,722	26.7%	7,031,600	2,583
短期大学、 高等専門学校	2,725	361	13.2%	561,700	1,556
大学共同利用機関法人	752	226	30.1%	830,000	3,673
国公立試験研究機関	1,013	308	30.4%	583,000	1,893
特殊法人、 独立行政法人等	4,806	1,596	33.2%	4,411,000	2,764
一般社団法人、 一般財団法人	698	188	26.9%	499,700	2,658
企業等の研究所	196	43	21.9%	146,200	3,400
合 計	85,160	23,797	27.9%	55,415,700	2,329

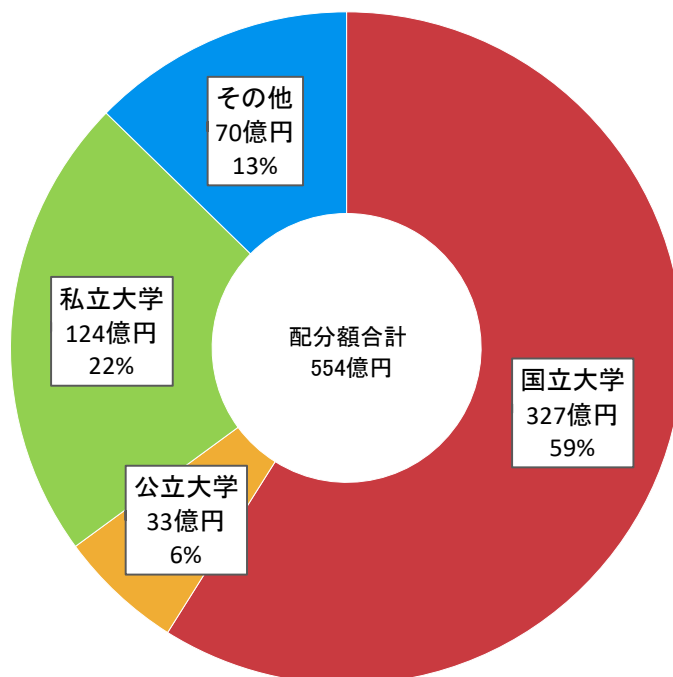
※対象:「特別推進研究」、「基盤研究(S・A・B・C)」、「特設分野研究」を除く、「若手研究」、「挑戦的研究(開拓・萌芽)」、「研究活動スタート支援」

応募・採択件数

※外円は応募件数、内円は採択件数



配分額

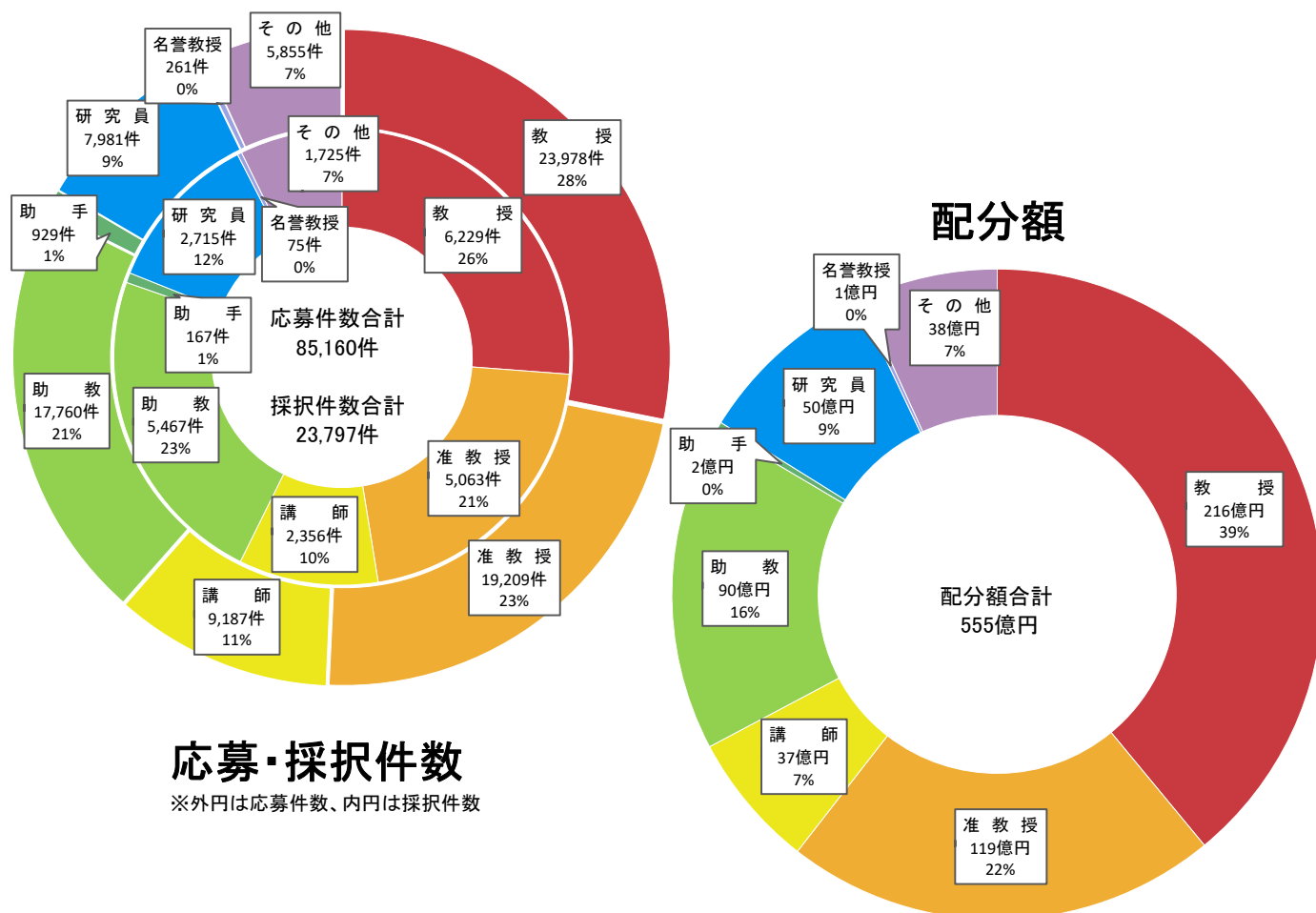


※円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。

職種別の応募・採択等の状況

区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
教 授	23,978	6,229	26.0%	21,623,800	3,471
准 教 授	19,209	5,063	26.4%	11,912,600	2,353
講 師	9,187	2,356	25.6%	3,731,900	1,584
助 教	17,760	5,467	30.8%	8,999,300	1,646
助 手	929	167	18.0%	202,400	1,212
研 究 員	7,981	2,715	34.0%	5,043,100	1,857
名誉教授	261	75	28.7%	125,100	1,668
そ の 他	5,855	1,725	29.5%	3,777,500	2,190
合 計	85,160	23,797	27.9%	55,415,700	2,329

※対象:「特別推進研究」、「基盤研究(S・A・B・C)」、「特設分野研究」を除く、「若手研究」、「挑戦的研究(開拓・萌芽)」、「研究活動スタート支援」

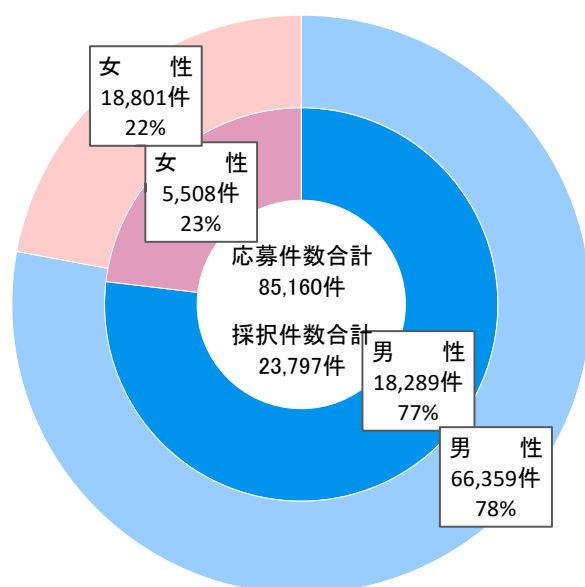


※円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。

男女別の応募・採択等の状況

区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
男 性	66,359	18,289	27.6%	46,617,100	2,549
女 性	18,801	5,508	29.3%	8,798,600	1,597
合 計	85,160	23,797	27.9%	55,415,700	2,329

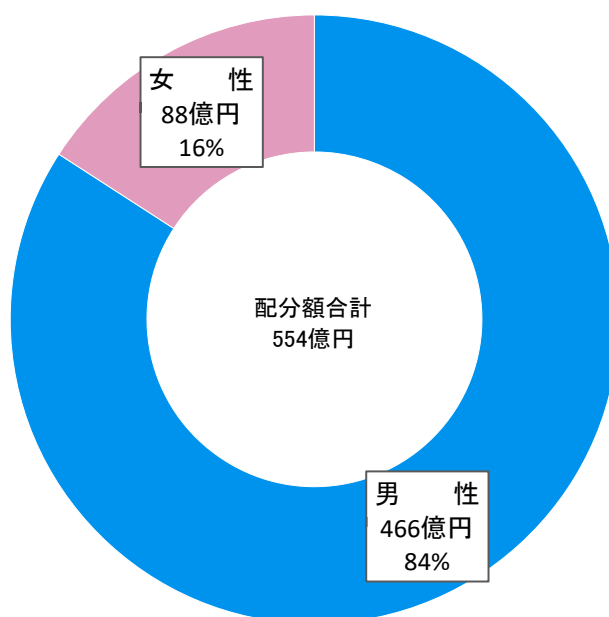
※対象:「特別推進研究」、「基盤研究(S・A・B・C)」、「特設分野研究」を除く、「若手研究」、「挑戦的研究(開拓・萌芽)」、「研究活動スタート支援」



応募・採択件数

※外円は応募件数、内円は採択件数

配分額

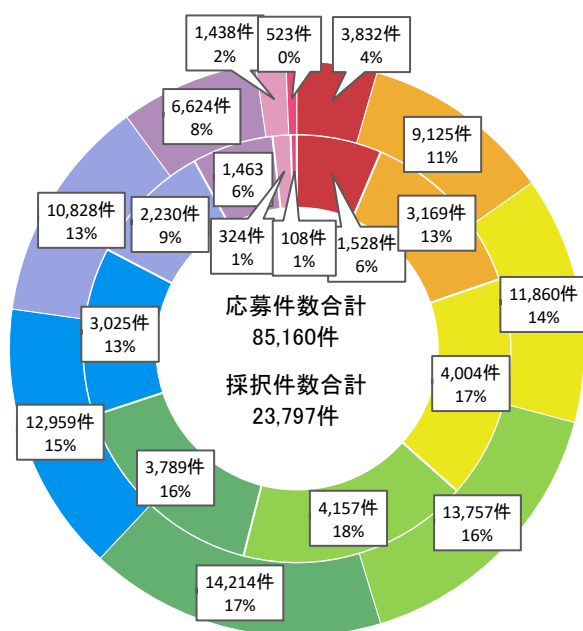


※円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。

年齢別の応募・採択等の状況

区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
30歳未満	3,832	1,528	39.9%	1,957,600	1,281
30歳以上 35歳未満	9,125	3,169	34.7%	5,098,100	1,609
35歳以上 40歳未満	11,860	4,004	33.8%	7,666,900	1,915
40歳以上 45歳未満	13,757	4,157	30.2%	9,350,100	2,249
45歳以上 50歳未満	14,214	3,789	26.7%	9,679,700	2,555
50歳以上 55歳未満	12,959	3,025	23.3%	7,794,300	2,577
55歳以上 60歳未満	10,828	2,230	20.6%	7,400,500	3,319
60歳以上 65歳未満	6,624	1,463	22.1%	5,089,900	3,479
65歳以上 70歳未満	1,438	324	22.5%	991,700	3,061
70歳以上	523	108	20.7%	386,900	3,582
合 計	85,160	23,797	27.9%	55,415,700	2,329

※対象:「特別推進研究」、「基盤研究(S・A・B・C)」、「特設分野研究」を除く、「若手研究」、「挑戦的研究(開拓・萌芽)」、「研究活動スタート支援」

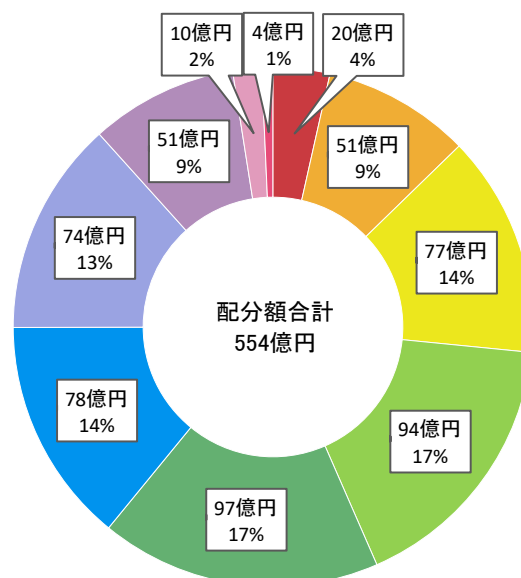


応募・採択件数

※外円は応募件数、内円は採択件数

- 30歳未満
- 30歳以上 35歳未満
- 35歳以上 40歳未満
- 40歳以上 45歳未満
- 45歳以上 50歳未満
- 50歳以上 55歳未満
- 55歳以上 60歳未満
- 60歳以上 65歳未満
- 65歳以上 70歳未満
- 70歳以上

配分額



※円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。